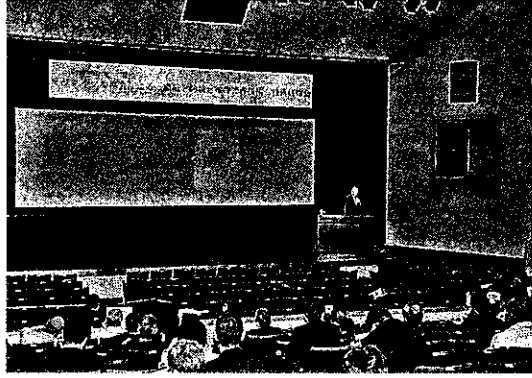


九建日報

発行所
株式会社 九建日報社

環境、防災と維持管理技術 ミラクルソル協会が研修会



【佐賀】ミラクルソル協会(原裕理事長)は22日、唐津市の文化体育館ホールにおいて「環境と防災と維持管理技術」をテーマに掲げ技術研修会Ⅱ写真Ⅱを開催した。この日は、官公庁職員をはじめ、協会会員、建設関係の技術者等163人が会場に足を運び講師の話最後まで熱心に聞き入っていた。

研修は、2部構成で行われ、CPDSがそれぞれ4ユニット与えられ、第1部では、「気候変動と災害」そして「ミラクルソルの環境負荷低減技術」と題して、原理事長が、気候変動という地球規模での災害過多の環境の中で、廃ガラスを再生資源化した多目的環境材料「ミラクルソル」を利用して水環境・環境土木・環境緑化工法への提案を説明。次に、「老朽化吹付法面の診断・調査設計から対策工の設計施工について」と題し、日特建設(株)九州支店技術部長藤保徳次長が、法面の老朽化を様々な事例を通して紹介。効率的な維持管理技術のため、点検、診断、補修・補強、記録及び対策工を計画施工することの重要性を語り、老朽化の対処方法として、ニューレスプ・ジオファ

イバー工法が優れていることをテキストに沿って説明をした。

第2部では、国土防災技術(株)佐賀営業所小川伸彦所長が「環境保全と人工腐食化技術」、サンスイ・ナビコ(株)営業部の田村允氏と営業開発部の高橋里沙氏が「グラウンドアンカー健全度調査例、維持管理性・長期定着特性に優れたF i x e r グラウンドアンカー工法」、岡三リビック(株)リバイアテクノ部機能保全室沼田治次長が「道路橋におけるコンクリート表面保護工法と鋼橋の部分塗装技術について」と題して、それぞれ講演した。

その他、パネルディスカッションや質疑応答も行われ、意見も交換した。